

## ■ グループ紹介

# 積水ハウス株式会社

## 1. 沿革

当社は、昭和35年積水化学工業株式会社ハウス事業部を母体として設立された。翌年滋賀工場を設置し操業を開始、当社の基本構造であるB型の発売を行う。戦後の住宅政策とも相まって、よりよい住宅を供給する役割を果たすと共に常に次代の住宅の有り様を問い続けてきた。その間、当社の企業理念である「人間愛」を信条に、設計から施工、メンテナンスに至る一貫した責任保証体制によりお客様本位の活動を続け、現在では主体である住宅供給事業以外に包括した都市開発事業にも乗りだし総合建設業への転換を図りつつある。

## 2. 事業内容

当社は次のような事業を行っている。

- 1) 建物、構造物の設計、施工、請負及び監理
- 2) 建築材料の製造及び売買
- 3) 緑化造園材料その他土木建築工用資材の売買
- 4) 地域開発、都市開発、土地造成及び環境整備に関する調査・企画・設計・施工及び監理
- 5) 建設工事の設計、施工、請負並びに監理
- 6) 土木工事、大工工事、屋根工事、管工事塗装防水工事、内装仕上げ、建具工事、電気工事及び水道消防施設工事の設計、施工、請負及び監理
- 7) 不動産の売買、賃貸借、管理及び鑑定並びに不動産経営コンサルティング
- 8) 不動産の売買及び賃貸借の仲介及び代理
- 9) 樹木の育成及び売買並びに造園の設計、施工及び請負
- 10) 住宅設備機器、門扉・フェンス等の住宅附属設備及び日用品雑貨の売買
- 11) スポーツ施設、保養所、研修所、飲食店及び宿泊施設の経営並びに経営コンサルティング

## 3. 現況

- 資本金1,390億6,274万円（平成4年4月1日現在）
- 従業員数 12,590名（ “ ” ）
- 売上高 1兆773億円（平成3年2月1日～平成4年1月31日迄）
- 本 社 大阪市北区中之島6丁目2番27号  
（中之島センタービル）
- 営業所 全国136カ所（平成4年2月1日現在）
- 工 場 5工場（滋賀、関東、山口、静岡、兵庫）
- 研究所 総合住宅研究所（京都府木津町）
- 製品の内容

軽量鉄骨及び枠組み壁工法・鉄筋コンクリート・在来木造等による一般住宅、アパート、マンション、高層ビル、寮、社宅、事務所、保養所、別荘、店舗、医院、保育園、学校、体育館、工場、倉庫、観光施設等

## 4. 技術研究・開発

当社は1990年創業30年を記念して、関西文化学術研究都市に総合住宅研究所を建設した。

当研究所には建築技術や材料、構法等に関わるハード分野を研究する「技術研究室」と、住まいづくりのソフト面を体験学習する「納得工房」の2部門があるが「納得工房」に関しては本誌7月号で弊社福井が紹介しているので、ここでは「技術研究室」の研究業務を紹介する。

### 1) 技術研究室の基本姿勢

技術研究室は発見する（Discover）・試す（Test）・知る（Recognize）・創る（Create）を基本姿勢として研究活動を行っている。

### 2) 技術研究室の組織

技術研究室は基盤研究を主として行う技術研究ブロックと製品化研究を主として行う開発研究ブロックで組織される。また技術研究ブロックは構造、材料、熱環境、音環境、ヒューマンサイエンス、設備、無機基

技術研究ブロック

グループ	研究領域	主な実験室
構造	建築の構造強度および防耐火に関する研究を行う	構造実験場 材料強度実験室
材料	材料の劣化特性から建築の耐久設計に関する研究を行う	材料耐久性実験室 機器分析室
熱環境	建築環境としての熱・湿気・空気に関する研究を行う	三室型恒温恒湿室 熱湿気実験室
音環境	建築の音響・振動特性に関する研究を行う	無響室・残響室 音響実験室
ヒューマンサイエンス	人間情報環境に関する生理・心理面からの研究を行う	昼光視環境実験室 温熱生理実験室
設備	建築設備の適応化及びシステム化の研究を行う	人工気象室 エネルギー効率実験室
無機基材	コンクリート製品に係わる性能評価研究と新基材・新配合の開発研究を行う	セラミック材料実験室

開発研究ブロック

グループ	研究領域
企画	社内外の各分野の開発マンパワーを結集し、技術開発研究の枠組みを企画推進する
ビルディングシステム	新躯体システムの開発を目指した構法・建築構成部材の開発研究を行う
プロダクトデザイン	プロダクトデザインの視点から人と物との良い関係を思い描き、造形開発研究を行う
プロダクトエンジニアリング	先行の技術分野を開拓し、その結果を当社の固有技術に高める

材の7グループで構成され、開発研究ブロックは企画、ビルディングシステム、プロダクトデザイン、プロダクトエンジニアリングの4グループで構成される。各グループの研究領域と主な実験室は表に示す通りである。

所在地：〒619-02 京都府相楽郡木津町兜合  
6丁目-6-1

(文責：総合住宅研究所技術研究室長 河村 友文)

**共催行事ごあんない** 「第26回化学工学の進歩講習会  
——流動層——」開催案内

(主 催) 化学工学会東海支部  
(共 催) 中部科学技術センター、化学工学会流動層特別研究会、エネルギー・資源学会他  
(日 時) 平成4年10月27日(火)～29日(木)  
(会 場) 愛知県産業貿易館 西館9階第3会議室  
(名古屋市中区丸の内3-1-6、TEL 052-231-6351)  
(交 通) 地下鉄桜通線「丸の内」駅下車、4番出口徒歩10分  
(定 員) 90名(定員になり次第締切)

[参加費(テキスト代を含む)]

参加日数	3日間	2日間	1日間
正会員	30,000	25,000	20,000
学生会員	6,000	5,000	4,000
会員外	40,000	35,000	30,000

\*主催、共催団体の法人会員事業所の社員も正社員扱いです。  
・テキストは、化学工学の進歩26「流動層」

■ 申込・問合せ先  
〒460 名古屋市中区栄2丁目17-22  
中部科学技術センター内 学協会合同事務局内  
化学工学会東海支部 TEL 052-231-3070